

## 『第87回全日本自転車競技選手権大会』が開催されました！

6月22日(金)～24日(日)の3日間、国内最高峰の自転車ロード・レース大会「第87回全日本自転車競技選手権大会」が、種地区・北仙道地区の一般公道を会場として開催されました。3日間で500名を超える選手の皆さんをはじめ、審判関係者、ボランティアスタッフ、一般観戦者を含めて約9,000名の方々に来場いただきました。

各種目ともに今年の日本一を決定する大会だけあって、白熱するレース展開と圧倒的なスピード、熱狂的な応援で、会場は一日中熱気に包まれていました。



## 日程

6月22日(金) 女子エリート(一般)、女子U23

6月23日(土) 男子ジュニア(U19)、女子ジュニア(U19)+U17、  
男子U23、男子U17+U15

6月24日(日) 男子エリート(一般)



## コース

種地区・北仙道地区の一般公道 14.2km/周  
(北仙道地区振興センター前スタート・フィニッシュ)



## 競技結果

- ① 女子エリート (14.2km × 9周 128km)  
・出走人数 33名 (完走者 10名)

順位	選手名	所属チーム	記録
1位	與那嶺 恵理	Wiggle High5	3h57m15s
2位	金子 広美	イナーメ信濃山形	4h00m15s
3位	牧瀬 翼	Maaslandster International Women's Cycling Team	4h04m00s

- ② 女子U23 (14.2km × 7周 99km)  
・出走人数 11名 (完走者 7名)

順位	選手名	所属チーム	記録
1位	中井 彩子	鹿屋体育大学	3h23m48s
2位	下山 美寿々	早稲田大学	3h23m51s
3位	梶原 悠未	筑波大学	3h24m18s

- ③ 男子ジュニア (14.2km × 6周 85km)  
・出走人数 147名 (完走者 61名)

順位	選手名	所属チーム	記録
1位	日野 泰静	松山城南高校	2h11m30s
2位	福田 圭晃	横浜高校	2h11m30s
3位	兒島 直樹	祐誠高校	2h11m30s

- ④ 女子ジュニア+U17 (14.2km × 3周 43km)  
・出走人数 21名 (完走者 12名)

順位	選手名	所属チーム	記録
1位	石上 夢乃	横浜創学館高校	1h17m02s
2位	中富 尚子	京都産業大学	1h17m02s
3位	平尾 愛菜	岐阜第一高校	1h17m03s

## 2018 全日本コース



※ 写真提供：公益財団法人日本自転車競技連盟

⑤男子U23 (14.2km × 11周 156km)

・出走人数 123名 (完走者 15名)

順位	選手名	所属チーム	記録
1位	石上 優大	AVC AIX EN PROVENCE	4h10m06s
2位	松田 祥位	EQADS	4h11m02s
3位	大前 翔	慶應義塾大学	4h13m33s



⑥男子U17 + U15 (14.2km × 3周 43km)

・出走人数 78名 (完走者 52名)

順位	選手名	所属チーム	記録
1位	津田 悠義	三好高校	1h06m51s
2位	石塚 慶一郎	和歌山県自転車競技連盟	1h08m00s
3位	小池 陽斗	北桑田高校	1h08m00s



⑦男子エリート (14.2km × 15周 213km)

・出走人数 119名 (完走者 31名)

順位	選手名	所属チーム	記録
1位	山本 元喜	KINAN Cycling Team	5h46m53s
2位	佐野 淳哉	MATRIX POWERTAG	5h47m25s
3位	新城 雄大	KINAN Cycling Team	5h49m36s



来場者数等

日程	来場者数	うち選手数
6月22日(金)	1,500名	44名
6月23日(土)	2,500名	369名
6月24日(日)	5,000名	119名
計	9,000名	532名

※上記の来場者数は、選手、チーム関係者、審判関係者、一般観戦者、ボランティアスタッフ等全てを含めた人数。

【ボランティアスタッフ数】

日程	ボランティアスタッフ数
6月22日(金)	265名
6月23日(土)	351名
6月24日(日)	300名
計	916名



★自治会の皆様、企業関係者の皆様、市民の皆様をはじめ、大会当日は多くの方々にボランティアスタッフとしてご協力をいただきました。



このたび、全てのカテゴリの日本一を決定する国内最高峰の自転車ロード・レース大会を、益田市で初めて開催しました。早いチームでは大会1カ月前頃から益田入りして本番を想定した練習を始め、特に大会1週間前頃からは、多くの選手やチーム関係者、一般観戦者が益田で宿泊するなど、市内の宿泊施設は満室状態が続きました。

こうして国内最高峰の大会が益田市で開催されることは、事前キャンプ誘致活動にも大きな効果を発揮するとともに、市民の皆様に対する自転車競技の知名度向上など、「キャンプ誘致の実現」と「自転車によるまちづくり」に向けた機運醸成にもつながったと考えます。

一方で、大会は3日間の開催となるなど、大会開催にあたり、種地区・北仙道地区をはじめとする地元住民の皆様や事業所の皆様には、交通規制等で大変ご迷惑をおかけしました。また、大会の運営については、NPO法人益田市・町おこしの会の呼びかけにより多くの市民ボランティアスタッフの皆様にご支援をいただき、大会も無事成功裏に終えることができました。

ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

【問い合わせ先】市五輪キャンプ誘致推進課 ☎ 31-0342